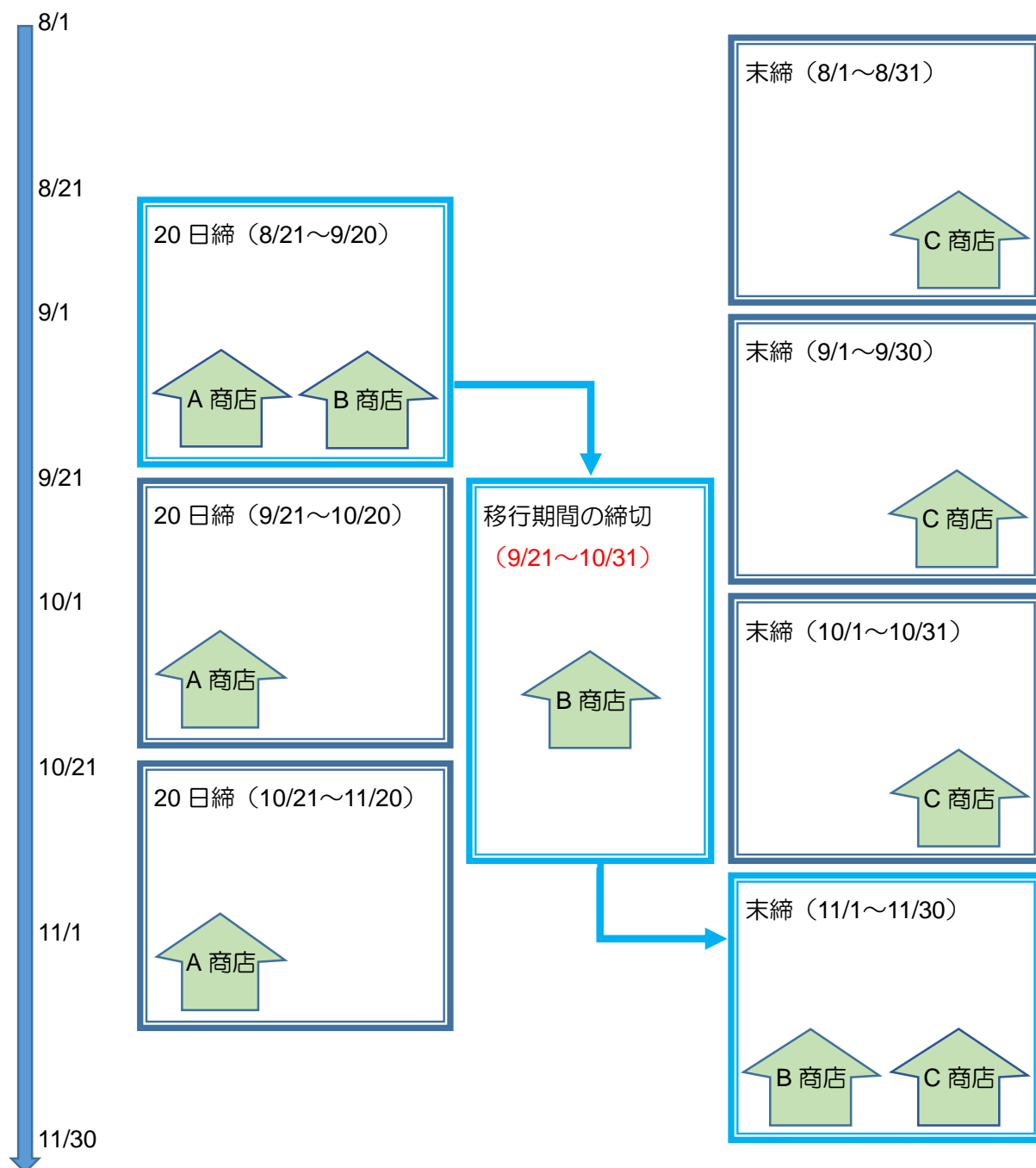


## 得意先の締日の変更方法

締日の変更時には、変更する得意先のみ、通常とは異なる請求期間での請求締切が発生します。そのため、移行期間は他の得意先と異なる締切を問題なく行えるように設定変更が必要になります。ここでは締日変更の手順をご案内します。

例) 2016年9月20日まで20日締で、11月請求(11月30日請求)分から末締請求に変わる場合。

【イメージ図】B商店の締日を20日から末締に変更。



## 【操作手順】

20日締から末締に締日が変わる得意先を例に、操作および請求の手順を説明します。

あらかじめ締日に移行するための「締日コード」を用意しておきます。

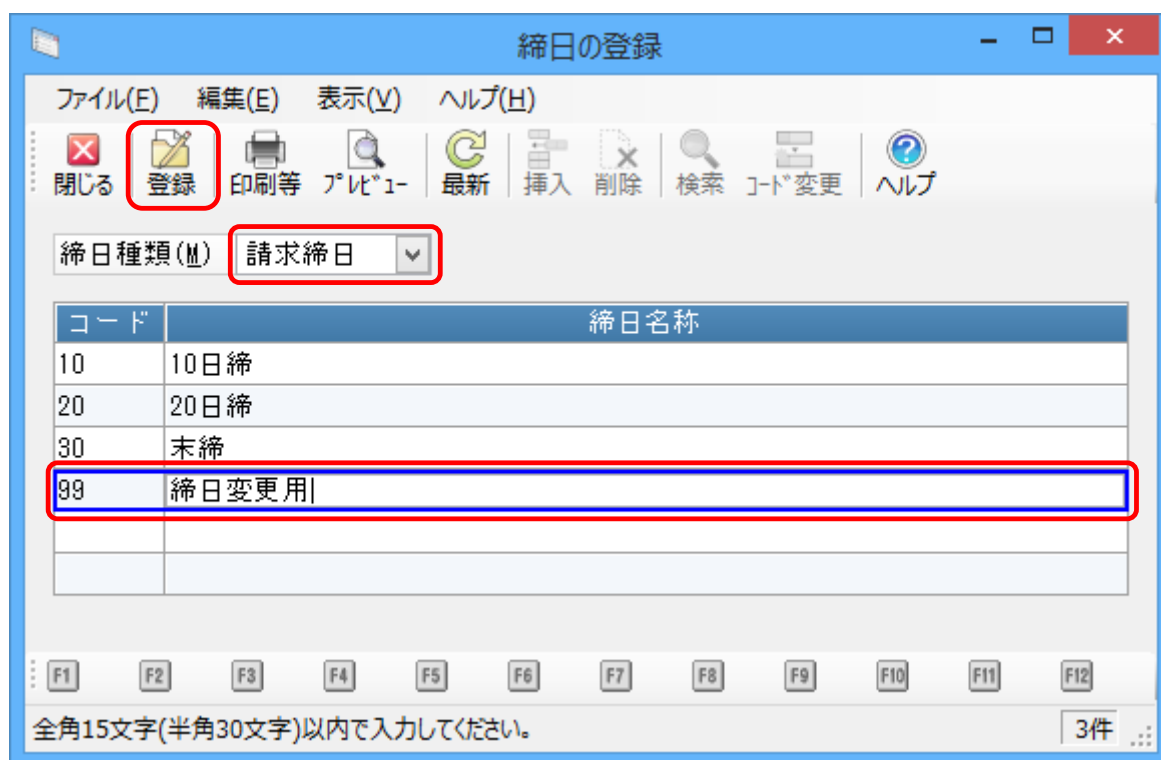
締日移行期間は、他の得意先と一緒に請求締切を行わないように得意先の「締日コード」を変更します。

最後に新しい締日に移行します。タイミングは他の得意先の請求処理や訂正が全て終了した後です。

- ① 「前準備」－「会社マスター」－「締日の登録」を開きます。
- ② [締日種類] を「請求締日」に設定し、コード一覧の中に、締日変更用に使うコードが作成済みかを確認します。

コードがない場合は、[コード] 欄に任意のコード番号を入力し、[締日名称] を入力して登録します。

画面例) 締日コード 99、名称を「締日変更用」と入力。



- ③ 通常の9月20日締が完了するまで、得意先の設定は20日締のコードのまま使用します。
- ④ 「前準備」－「取引先」－「得意先の登録（個別式）」を起動し、得意先を呼び出します。

- ⑤ [請求] タブを選択し、[請求締日] を「20日締用コード」から「締日変更用のコード」に変更し、[登録] ボタンをクリックします。

- ⑥ 末締の得意先（末締日用コード）は、8月末、9月末、10月末まで全て通常通り行います。  
20日締の得意先（20日締用コード）も、通常通り10月20日締を行います。
- ⑦ 締日を変更する得意先で、10月末の請求書の発行を請求期間9月21日～10月31日で行います。  
「販売管理」－「請求」－「請求書」を開きます。

- ⑧ 「請求形態」を「随時請求」に設定し、印刷する場合は「印刷等も行う」にチェックを入れます。  
請求期間を「2016年9月21日～2016年10月31日」に設定し、得意先コードを入力します。

- ⑨ 「実行」ボタンをクリックして、締切処理を行います。  
※ 「印刷等も行う」にチェックを入れた場合はそのまま印刷まで実行します。
- ⑩ 10 月末締の得意先全件の請求が完了し、訂正も終えて請求金額が確定するまで、得意先の締日を「締日変更用」の設定のまま維持します。

#### 【参 考】

締日に移行している期間に請求一覧表を見る場合は、「発行対象」を「得意先の請求日一覧」に設定し、出力範囲等で範囲を絞ってご覧ください。

画面例)

- ⑪ 10月末の請求業務が訂正・再発行も完了した後に、得意先の登録で未締に移行する得意先の設定を変更します。
- 「前準備」－「取引先」－「得意先の登録（個別式）」を起動し、得意先を呼び出します。
- ⑫ [請求] タブを選択し、[請求締日] を「締日変更用のコード」から「未締用コード」に変更し、[登録] ボタンをクリックします。

得意先の登録（個別式）

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 複写 先方担当 共有解除 前移動 次移動 削除 初期設定 一覧 履歴 ヘルプ

修正 (0001)五越株式会社

得意先コード 0001  
 得意先名 1 五越株式会社  
 得意先名 2  
 会社敬称 御中 加索引 ココソ

使用区分 0:許可

基本 先方担当者 販売 請求 コメント

請求先コード  
 請求締日 30 未締  
 与信限度額 0 繰越残高 7,498,010  
 金額端数 0:切捨て  
 消費税端数 0:切捨て  
 消費税通知 2:納品書毎  
 請求書用紙 単票品名版<13111,13112>  
 請求書社名 請求書 1

回収種別 1 2:振込  
 回収種別 2 0:現金  
 種別境界額 0  
 回収日 3 ヵ月後 15 日  
 休日対応 0:しない 休日カレンダー  
 回収方法 0:集金  
 回収口座

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

半角数字0～99の範囲内で入力してください。

- ⑬ 11月末日の請求締より、通常の未締として請求締切を開始します。

手順は以上です。